

## 秋田県八峰町及び能代市沖における協議会（第6回）

### ○日時

令和8年2月25日（水）10時30分～12時00分

### ○場所

ANAクラウンプラザホテル秋田 4階 シリウス  
（WEB会議を併用）

### ○参加者（※WEB参加者を示す）

（構成員）

経済産業省資源エネルギー庁 新エネルギー課風力政策室 室長	古川 雄一
国土交通省港湾局海洋・環境課 海洋利用調査センター 所長	佐渡 英樹
農林水産省水産庁資源管理部 管理調整課 計画官	馬場 俊介※
秋田県産業労働部 クリーンエネルギー政策統括監	三浦 均
能代市 市長	齊藤 滋宣
（能代市環境産業部 エネルギー産業政策監	浜野 隆司）
八峰町町長	堀内 満也
秋田県漁業協同組合 代表理事組合長	杉本 貢
秋田県漁業協同組合 北部地区運営副委員長	田村 忠悦
秋田県漁業協同組合 能代地区漁業者代表	荒川 一則（欠席）
八峰町峰浜漁業協同組合 代表理事組合長	塚本 一
日本内航海運組合総連合会 海務部担当部長	逸見 幸利※
秋田職業能力開発短期大学校 校長	中村 雅英
秋田県立大学システム科学技術学部 教授	杉本 尚哉（欠席）
秋田大学理工学部 システムデザイン工学科 教授	浜岡 秀勝（欠席）
東京大学教養学部 附属教養教育高度化機構 客員准教授	松本 真由美※
合同会社八峰能代沖洋上風力 プロジェクトディレクター	山田 智之

(オブザーバー)

環境省大臣官房

地域政策課洋上風力環境調査室 室長補佐 野玉 悠葵※

## ○議題

(1) 本協議会の運営について

- 経済産業省（事務局）より資料3（秋田県八峰町及び能代市沖における協議会運営規程の改正案）を説明。
- 座長より、協議会の公開の方法について、議論の透明性の観点から本協議会を含む、今後の協議会について録画配信を行うことを提案、承認された。

(2) 事業の進捗状況について

### 合同会社八峰能代沖洋上風力

- 資料4（秋田県八峰町及び能代市沖洋上風力発電事業概要説明）を説明。

### 能代市

- 地域として本事業には大変期待をしており、事業完遂に向けて、努力いただきたい。
- 基地港湾である能代港の活用について、最大限活用していくとの方向で検討いただきたい。

### 合同会社八峰能代沖洋上風力

- 能代港の活用について、港湾を取り巻く状況の変化については、承知をしており、現在、複数の可能性を検討している。

### 八峰町

- 事業者においては、地元のイベントや行事に積極的に参加いただき、地域として大変喜んでいるところであり、継続していただきたい。
- 能代港の活用について、空いている状況もあり、積極的に活用いただきたい。
- 陸上設備工事が遅れている状況であるが、早期着手、着実な事業の実施に向けて努力いただきたい。

#### 合同会社八峰能代沖洋上風力

- 陸上設備工事の着工は一旦延期としたが、公募占用計画に沿って事業を完遂させるとの方針は変わっておらず、引き続き鋭意取り組んでいく。
- 能代港の活用について、港湾を取り巻く状況の変化については、承知をしており、現在、複数の可能性を検討している。

#### 秋田県漁業協同組合（代表理事組合長）

- 漁業影響調査について、共同漁業権の外側も対象に調査を行っていただきたい。能代港の風車のモノパイル打設時には、魚が普段獲れないところで獲れたなど、共同漁業権の外側で魚の移動が生じた可能性があるとの話を現場の漁師から聞いている。

#### 合同会社八峰能代沖洋上風力

- 漁業影響調査については、事業区域である秋田県漁協能代地区、峰浜漁協に関係するエリアだけでなく周辺のエリアも対象にデータ収集など調査を行っている。今年の夏に1年目の調査結果の報告をさせていただき予定であり、その際に不足している調査等ご指摘いただき、次の調査に生かしていくことで対応させていただきたい。
- モノパイルの打設音について、影響を心配する声を頻繁に伺っている。打設は、基本的には決まった時間に行う予定であるが、安全上、決められた時間を少し超えて行う可能性もある。打設に際しては、事前に地元関係者、住民の皆様にごどのような内容、スケジュール、打設時間で行うのかなど説明をさせていただく。

#### 秋田職業能力開発短期大学校（座長）

- モノパイルの打設については、秋田港と能代港の風車建設の際にも問題となっており、一時的ではあるが、漁業に影響があることも明らかになっているため、地元関係者と丁寧に協議しながら進めていただきたい。

#### 合同会社八峰能代沖洋上風力

- 承知した。

#### 秋田県漁業協同組合（北部地区運営副委員長）

- これまで、都度進捗状況の説明をいただいております、今後も引き続き同様に説明をいただきたい。

#### 合同会社八峰能代沖洋上風力

- 承知した。今後も引き続き丁寧に説明を行っていく。

#### 八峰町峰浜漁業協同組合

- 漁業者は地域の海を大切に守りつつ、地域の発展と漁業との共存を真剣に目指している。現時点では、漁業共生の具体策が見えていない状況である。今後、具体的に、漁業者としてどのようなアクションが必要であるのか、どのような取組みが可能であるのかなど、事業者と共に踏込んで検討していきたい。

#### 合同会社八峰能代沖洋上風力

- 本事業においては、漁業との共存、地域の更なる発展が非常に大切なこととして取り組んでいるところである。そのためには、地元の皆様の意見が非常に大切であり、引き続き密にコミュニケーション、意見交換をさせていただき、漁業と共存し、地域の更なる発展に実感が持てるよう取り組んでいく。

#### 秋田職業能力開発短期大学校（座長）

- 地域と事業者が長期に渡り良い付き合いができるよう進めていただきたい。

#### 合同会社八峰能代沖洋上風力

- 承知した。

#### 日本内航海運組合総連合会

- 船舶の航行安全に関して、今後開催される航行安全委員会に参加させていただき方向で、詳細を打合わせさせていただきたい。
- 国土交通省港湾局より、3月中に、「一般海域における海洋再生可能エネルギー発電設備と船舶が頻繁に航行する海域との間の離隔距離の確保について」との事務連絡が発出されることを伺っている。正式な事務連絡発出後は、航行安全委員会の中でもこの件に関する検討をさせていただきたい。

#### 合同会社八峰能代沖洋上風力

- 船舶の航行安全については、今後開催する航行安全委員会に参加いただき、様々なご意見をいただきたい。
- 離隔距離については、船舶の航行安全、漁業操業の観点から非常に重要な事項であり、引続き意見交換をさせていただきたい。

#### 東京大学

- 事業者においては、地域振興策と漁業共生策を実現できるよう、今後もしっかり努めていただきたい。

#### 合同会社八峰能代沖洋上風力

- 承知した。

#### 秋田大学（\*欠席につき国土交通省（事務局）が代読）

- 事業者資料により、様々な地域振興策を基金によらず事業者の努力で行っていただいていることがわかり、地元としても大変ありがたく思う。
- 地域振興策について、例えば、地元から何をして欲しいのかなど意見を募集し、その中から取捨選択して実施していくことにより、地元との相互コミュニケーションに繋がるとともに、地元が求めているものにしっかりと適応できるのではないかと感じた。施策を増やして欲しいということではなく、限られた予算の中で出来る範囲での実施となるため、実施効果も上がるのではないかと思う。可能であれば検討いただきたい。

#### 合同会社八峰能代沖洋上風力

- 地域振興策について、地元の意見、ニーズを伺いながら、取組んできており、今後も引続き、強化も行いながら取組んでいく。
- 地元の意見、ニーズを把握する手段として意見募集も1つの方法であるが、地元自治体が様々なニーズを深く把握されているものと考えている。地元の自治体と協議を重ねながら、地元の皆様と接している中での意見など、様々な形で地元の意見、ニーズを取込んでいけるよう努力していく。

#### 秋田職業能力開発短期大学校（座長）

- 地元の意見、地元が望んでいることを、できる限り取込みながら進め

ていただきたい。

(3) 洋上風力事業を完遂させるための事業環境整備及び新たな公募制度等について

経済産業省（事務局）

- 資料5（洋上風力事業を完遂させるための事業環境整備及び新たな公募制度等について）を説明。

秋田職業能力開発短期大学校（座長）

- 公募制度について、ラウンドにより、公募条件が異なっている。公募の公平性の観点から、各ラウンド間で不公平とならないよう配慮いただきたい。

経済産業省（事務局）

- 公募の公平性は、基本的には同ラウンド、同公募における公平性が重要である。ラウンド毎に事業環境は異なる状況であり、これまでも、ラウンド毎に、公募制度の見直しを行ってきている。各ラウンドの公募制度が全く同じであることの方が、問題が生じる可能性があるものと考えている。ただし、ご指摘の事項については、審議会においても議論いただいております。第2、第3ラウンドにおいてはインフレ等の影響が非常に大きかったことや、初期の案件であることなどを踏まえ、示している対応を実施していく方向で考えている。

(4) 閉会

経済産業省（事務局）

- 今後の進め方について、本協議会については、事業の進捗等を確認するため、毎年度1回は開催することとしており、来年度も適宜開催させていただきます。

秋田職業能力開発短期大学校（座長）

- 事務局及び事業者においては、本日の議論を踏まえて、次回以降に向けて、準備いただきたい。

以上